



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

上場取引所 東名

コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋尾 正

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 東 真一郎

TEL 052-963-7501

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	335,945	0.0	14,778	22.2	15,988	30.0	9,818	25.8
25年3月期第3四半期	335,785	△8.3	12,095	△48.9	12,301	△47.8	7,803	△51.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 23,802百万円 (201.4%) 25年3月期第3四半期 7,898百万円 (△34.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	22.64	—
25年3月期第3四半期	17.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	557,627	267,737	41.7
25年3月期	511,159	245,741	41.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 232,481百万円 25年3月期 211,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	1.50	4.50
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	456,500	3.6	21,000	36.1	21,500	30.5	13,500	22.9	31.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	434,487,693 株	25年3月期	434,487,693 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	776,774 株	25年3月期	740,608 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	433,733,272 株	25年3月期3Q	433,767,564 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	7
	四半期連結包括利益計算書	8
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(セグメント情報)	9
4.	補足説明資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が底堅く推移したことと鉱工業生産についても設備投資の復調等により増加基調が継続したことから、回復傾向を続けてまいりました。特殊鋼の主要需要先である日系自動車生産に関しても、一部新興国需要の伸び悩みは見られたものの堅調な国内および米国販売に牽引されて底堅く推移いたしました。また産業機械関連需要についても前年度後半の在庫調整が完了し回復局面に移行してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、需要環境が回復傾向を続けてきたことから前年同期比1億59百万円増収の3,359億45百万円となりました。また、経常利益については、戦略商品拡販などの収益改善効果および円安による為替差益が発生したこと等から前年同期比36億87百万円増益の159億88百万円となり、四半期純利益は98億18百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

## ①特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材部門については、自動車および産業機械向け構造用鋼需要が在庫調整局面から反転し回復傾向を強めてまいりましたが、昨年のエコカー補助金等の政策効果が剥落したことなどから、前年対比の売上数量は減少いたしました。一方、工具鋼製品については、自動車関連需要が国内外で堅調に推移したことと、海外拠点における拡販効果を受けて前年対比の売上数量は増加いたしました。

こうした需要環境のもと当社におきましては、需要の回復に柔軟に対応しつつ併せて生産コストの削減にも鋭意取り組んでまいりました。また主力生産拠点である知多工場の製鋼プロセス合理化工事については、昨年11月より新型電炉の稼働を開始し量産体制に移行しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量は前期対比で減少したものの、販売価格の上昇と工具鋼の拡販効果を受けた結果、前年対比3.5%増加の1,349億42百万円となりました。一方、営業利益については、知多工場の新電炉稼働にともなう立上げコストが発生したことと、10月下旬以降スクラップ市況が上昇したことから、前年同期比11億24百万円減益の17億57百万円となりました。

## ②機能材料・磁性材料

ステンレス製品については、産業機械およびHDD向け需要が前年の大幅な在庫調整から回復したことから、売上高は増加いたしました。また磁材製品に関しても、FAサーボモーターおよびHDD用磁石の在庫調整が完了したことに加え、EPS向け磁石が搭載率の上昇等によって拡大した結果、売上高は前年を上回りました。一方、高合金製品に関しては、リードフレーム素材からの撤退により売上高は減少しております。粉末製品に関してもHEV向け軟磁性粉末は堅調だったものの、その他の製品で在庫調整があったことから売上高は減少いたしました。チタン製品についても輸出製品の在庫調整等により売上高は減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、ステンレスおよび磁材製品の需要回復を主因として前年同期比2.7%増加の1,066億15百万円となり、営業利益についても販売数量の増加と固定費圧縮等のコスト削減効果により、前年同期比33億43百万円増益の84億65百万円となりました。

#### ③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品については、円安を背景として重電・プラント関連需要が拡大したことから売上高は増加いたしました。一方、型鍛造製品については、前期の調整局面から増加傾向にあるもののASEAN市場の景気減速と上期に販売価格の見直しがあったことから、前期対比の売上高は減少いたしました。エンジンバルブ関連についても前年対比の数量減影響から売上高は減少しております。鋳鋼・精密鋳造品に関しては、産業機械向け鋳鋼品は低位に留まったものの、欧州・北米向けターボ関連製品が堅調に推移したことから売上高は増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比1.3%増加の711億27百万円となり、営業利益についても自由鍛造品・ターボ関連製品の売上増加が寄与したことなどから前年同期比4億62百万円増益の31億19百万円となりました。

#### ④エンジニアリング

エンジニアリング部門については、ASEAN工事案件等海外向け売上は順調に拡大しておりますが、前年に大型物件の工事売上が集中したことから、昨年対比の売上金額は大きく減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は、前年同期比33.9%減少の162億99百万円となり、営業利益についても売上の減少影響から前年同期比72百万円減益の4億11百万円となりました。

#### ⑤流通・サービス

流通・サービス部門については、不動産関係の請負工事案件が増加したこと等から当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2.7%増加の69億59百万円となり、営業利益についても前年同期比72百万円増益の10億27百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ464億67百万円増加し5,576億27百万円となりました。総資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「有形固定資産」の増加193億24百万円…主として知多工場における製鋼プロセス合理化のための投資による増加。
  - ・「投資有価証券」の増加178億24百万円…主としてその他有価証券の時価評価差額増加による増加。
- また、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産額は、前連結会計年度末に比べ219億95百万円増加し2,677億37百万円となりました。純資産額の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。
- ・「利益剰余金」の増加84億90百万円…主として四半期純利益98億18百万円の計上による増加。
  - ・「その他有価証券評価差額金」の増加110億43百万円…主として保有株式の時価の上昇による増加。
- この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は41.7%となり、前連結会計年度末と比べ0.2ポイント上昇しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の日本経済は、消費税引き上げを控えた個人消費の駆け込み需要や公共投資の増加を主因として堅調に推移していくと思われれます。また特殊鋼の主要需要先である自動車および産業機械関連需要に関しても、好調な国内自動車販売に加えて設備投資も緩やかな回復傾向が続いていることから、当面は堅調に推移すると考えられますが、一方では、欧州経済の脆弱さやインド、ASEAN、中国など新興国経済の成長鈍化など景気下押しリスクも大きく、これらの環境変化による需要動向を注視していく必要があると考えております。

このような経営環境のなか当社グループにおいては、徹底したコスト削減によって収益確保に努めるとともに、知多工場への戦略投資効果の早期発現や磁石・ターボ部品・粉末材料といった成長商品の拡大戦略を推進してまいります。

当期の連結業績につきましては、自動車等の需要は堅調に推移しておりますが、円安進展にともなってエネルギーコスト負担が拡大していることに加え、鉄スクラップ価格の上昇リスク等を勘案し、前回（平成25年10月31日）公表した業績予想の修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,020	50,336
受取手形及び売掛金	87,842	89,996
たな卸資産	94,036	100,248
その他	8,456	6,558
貸倒引当金	△271	△236
流動資産合計	242,084	246,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,242	57,802
機械装置及び運搬具(純額)	62,056	75,702
その他(純額)	46,620	47,739
有形固定資産合計	161,919	181,243
無形固定資産		
のれん	210	175
その他	3,954	5,297
無形固定資産合計	4,165	5,473
投資その他の資産		
投資有価証券	71,787	89,611
その他	31,344	34,546
貸倒引当金	△143	△151
投資その他の資産合計	102,989	124,007
固定資産合計	269,074	310,723
資産合計	511,159	557,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,233	76,229
短期借入金	42,006	49,740
1年内償還予定の社債	10,100	50
未払法人税等	1,761	1,474
賞与引当金	5,803	2,641
その他の引当金	431	300
その他	17,666	29,181
流動負債合計	144,001	159,619
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	63,430	66,240
退職給付引当金	6,865	7,023
その他の引当金	1,346	1,294
その他	19,774	25,711
固定負債合計	121,416	130,270
負債合計	265,418	289,889
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,542	28,542
利益剰余金	134,789	143,280
自己株式	△347	△366
株主資本合計	200,157	208,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,512	21,555
繰延ヘッジ損益	1	1
土地再評価差額金	1,654	1,654
為替換算調整勘定	△403	641
その他の包括利益累計額合計	11,764	23,853
少数株主持分	33,819	35,255
純資産合計	245,741	267,737
負債純資産合計	511,159	557,627



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	335,785	335,945
売上原価	287,826	285,359
売上総利益	47,959	50,585
販売費及び一般管理費	35,863	35,807
営業利益	12,095	14,778
営業外収益		
受取利息	90	101
受取配当金	1,128	1,278
持分法による投資利益	467	526
為替差益	283	1,018
その他	1,305	1,202
営業外収益合計	3,276	4,126
営業外費用		
支払利息	1,556	1,424
固定資産除却損	714	694
その他	799	797
営業外費用合計	3,070	2,917
経常利益	12,301	15,988
特別利益		
固定資産売却益	1,441	857
その他	25	196
特別利益合計	1,466	1,053
特別損失		
たな卸資産廃棄損	—	121
災害による損失	215	—
その他	311	10
特別損失合計	527	131
税金等調整前四半期純利益	13,240	16,910
法人税、住民税及び事業税	2,050	3,120
法人税等調整額	2,150	2,520
法人税等合計	4,200	5,641
少数株主損益調整前四半期純利益	9,040	11,268
少数株主利益	1,236	1,450
四半期純利益	7,803	9,818

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,040	11,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,311	11,209
繰延ヘッジ損益	6	△0
為替換算調整勘定	166	1,226
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	97
その他の包括利益合計	△1,142	12,534
四半期包括利益	7,898	23,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,764	21,959
少数株主に係る四半期包括利益	1,133	1,843

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	130,336	103,783	70,245	24,640	6,779	335,785	—	335,785
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48,000	12,254	22,674	1,392	7,716	92,038	△92,038	—
計	178,337	116,038	92,920	26,033	14,495	427,824	△92,038	335,785
セグメント利益	2,881	5,122	2,656	484	954	12,100	△4	12,095

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	134,942	106,615	71,127	16,299	6,959	335,945	—	335,945
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48,987	11,529	19,874	7,469	6,689	94,551	△94,551	—
計	183,930	118,144	91,002	23,769	13,649	430,496	△94,551	335,945
セグメント利益	1,757	8,465	3,119	411	1,027	14,780	△2	14,778

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足説明資料

平成26年1月30日  
大同特殊鋼株式会社

## 平成26年3月期 第3四半期決算発表

連 結

## (1) 当第3四半期のセグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	25年12月 (前年同期差)		
	第3四半期	増減額	増減率
特殊鋼鋼材	134,942	4,606	3.5
機能材料・磁性材料	106,615	2,831	2.7
自動車・産業機械部品	71,127	881	1.3
エンジニアリング	16,299	-8,341	-33.9
流通・サービス	6,959	180	2.7
計	335,945	159	0.0

## (2) 要約連結損益計算書 (四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	25年12月 (前年同期差)		
	第3四半期	増減額	増減率
売上高	335,945	159	0.0
営業利益	14,778	2,682	22.2
営業外収益	4,126	850	—
営業外費用	2,917	-153	—
経常利益	15,988	3,687	30.0
特別利益	1,053	-413	—
特別損失	131	-395	—
税引前純利益	16,910	3,669	—
法人税等	5,641	1,441	—
少数株主利益	1,450	213	—
当期純利益	9,818	2,014	25.8

## (3) 当第3四半期の経常利益増減要因 (前年同期対比)

(単位：億円) (参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	24年12月 第3四半期	25年12月 第3四半期
1. 販売数量増加	21	1. 原燃料等市況	35		
2. 販売価格是正	12	2. 固定費の増加	3	H2建値 (千円/t)	21.4
3. 内容構成差他	18			ニッケル(LME) (\$/lb)	7.63
4. 変動費改善	14			モリブデン(MD) (\$/lb)	12.3
5. 営業外損益	10				
計(a)	75	計(b)	38		
		差引(a)-(b)	37		

## (4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 25年3月末	当第3四半期 25年12月末	増減	科目	前期 25年3月末	当第3四半期 25年12月末	増減
流動資産	242,084	246,903	4,818	負債	265,418	289,889	24,471
現金	52,020	50,336	-1,684	営業債務	66,233	76,229	9,996
営業債権	87,842	89,996	2,154	有利子負債	146,999	146,631	-368
たな卸資産	94,036	100,248	6,212	その他	52,184	67,028	14,843
その他	8,185	6,321	-1,863	純資産	245,741	267,737	21,995
固定資産	269,074	310,723	41,649	株主資本	200,157	208,628	8,471
有形固定資産	161,919	181,243	19,324	その他の包括利益 累計額	11,764	23,853	12,088
無形固定資産	4,165	5,473	1,307	少数株主持分	33,819	35,255	1,435
投資その他の資産	102,989	124,007	21,017	負債純資産合計	511,159	557,627	46,467
資産合計	511,159	557,627	46,467				